



河嶋 淳司 展

— 龍とアニマルグラフィティ —

本館6階 美術画廊【日本画】

1957年東京都生まれ。1986年東京藝術大学大学院後期博士課程日本画専攻を修了。装飾性とデザイン性を併せ持った作品は、現代の日本画として注目をされ続け、現在も個展を中心に活躍。今展は、ライフワークである動物たちとの出会いで受ける生きる喜びやイマジネーションから描き出される「アニマルグラフィティ」のシリーズとともに、歌舞伎役者・三代目尾上辰之助さんの襲名披露のために描いた「龍」をきっかけに古典的テーマでもある龍の連作にも挑戦。

9.30 WED~10.5 MON

「青龍」
H116.7×W233.2cm

— 四季彩々 —

橋詰 正英 作陶展

本館6階 美術画廊【陶芸】

1959年長野県生まれ。東京藝術大学大学院修了後、人間国宝・藤本能道氏の内弟子として7年間修業。現在は青梅市の工房を拠点に制作。日本工芸会正会員。

自然あふれる青梅で育まれた草花や鳥たちの姿を、釉描加彩技法による色絵磁器で表現。

今展では、彩り豊かな壺、花入、皿、鉢、酒器などの新作を展観。

9.30 WED~10.5 MON

「釉描加彩ヤマセミ図扁壺」
H33×W40.4×D10cm

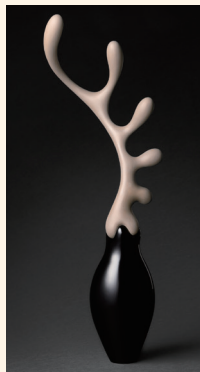
百瀬 玲亜 展

「根源と稜線」

本館6階 美術工芸サロン【漆芸】

1987年長野県生まれ、2016年金沢卯辰山工芸工房修了。原型に麻布を漆で張り重ねる乾漆技法を用い、実用性から離れ純粋な造形素材として漆の新たな可能性を探る百瀬氏。本展では、生命の形が立ち上がり、刻々と変化していく動きを造形と漆の塗膜で表現した作品を展観。

9.30 WED~10.5 MON

「塑する骨」
H120×W35×D25cm
漆、麻布

蒔絵 田中 義光 展

本館6階 美術画廊【漆芸】

1971年石川県輪島市生まれ。卓越した蒔絵技法と独自の芸術性が高く評価され、2025年に紫綬褒章を受賞。輪島の自然をモチーフに、季節のうつろいや儚い情景を表現した作品は、単に花鳥風月を描写するのではなく、情景の空気感を呼び起こすような情緒が溢れている。本展ではさらなる高みへと歩みを進める田中氏の珠玉の新作、名品を一堂に展覧。

10.7 WED~10.12 MON

「蒔絵箱 風薫る」
H8.5×W20×D11cm
漆、蒔絵

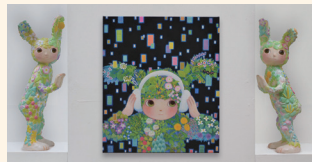
呉 亜沙 展

— 聞いてるし、聞いてない —

本館6階 美術画廊【絵画・立体】

1978年神奈川県生まれ、2003年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。今展では、近年描いている都市と雑草のモチーフを中心に、人間が懸命に整理した空間である都市に無造作に蔓延る雑草、その対比に大人と子供を投影して表現した作品を展観。作家として、両者に共感することを忘れずに、未熟と成熟の間に自身がいることを再確認したいと制作された作品、約40点を発表。

10.7 WED~10.12 MON

「mute」
(中央)H53.5×W45.5cm
キャンバス、油彩
「behind the words」
(左)約 H56×W19×D19cm
(右)約 H55×W18×D18cm
ミクストメディア(石粉粘土、油彩、スチロール、木、針金)

多田 幸史 作陶展

本館6階 美術工芸サロン【陶芸】

1973年石川県金沢市生まれ。美術大学で釉薬の教鞭を執った祖父、クラフト作家の父のもとで育ち、会社員生活を経て陶芸の道へ進む。

九谷焼の土味、絵具、金属などの素材を活かしながら、具象から抽象を引き出す創作紋様を器に展開。

花器や茶碗、皿、酒器類など新作を発表。

10.7 WED~10.12 MON

「幾何紋金白金彩壺」
H38×W25×D25cm

五味 謙二 展

— grounded —

本館6階 美術画廊X【陶芸】

1978年長野県生まれ、現在、茨城県立笠間陶芸大学校特命教授。2020年度のタカシマヤ美術賞など数々の受賞歴があり、現代陶芸界を牽引する作家の一人である五味氏。丁寧な手びねりから生み出されるおおらかなフォルムの作品は、古代の遺物を思わせる力強さと、現代性を持つ作品の洗練さを併せ持っています。本展では「grounded」(地に足のついた、冷静で落ち着いている)をテーマに新作を展観。

10.7 WED~10.26 MON

「sai do ki "black lander"」
H48×W47×D47cm
粘土
撮影: Shugo Hayashi杉本 小百合
岩田 加奈恵 二人展

本館6階 美術工芸サロン【漆芸・金工】

漆芸の杉本小百合氏と金工の岩田加奈恵氏の二人展。共に金沢美術工芸大学出身であり、杉本氏は「不可解さと美しさの共存」をテーマにした蒔絵作品を、岩田氏は「生命の輝き」をコンセプトに蝶をモチーフとした作品など、それぞれ新作を中心に展観。

10.14 WED~10.19 MON

(左)杉本小百合「花様」
H6.5×Φ5cm
磁土、漆、銀(右)岩田加奈恵「初蝶」
H40×W40×D40cm
洋白、真鍮、ステンレス、純銀

—BUSSHI—

令和・仏師・三人展 《江場 琳観・加藤 巍山・松久 靖朋》

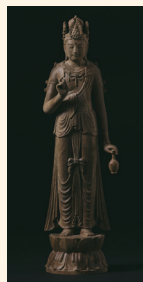
仏師とは「仏像を専門に制作・修復する職人」、或いは「仏教の信仰対象である仏像を専門に制作する彫刻家」、とも言われます。仏像という千年以上続く形式を通して、2026年の人々が何を祈り、何をつくり、何に価値を認めるのか。いまこの令和の時代に、江場琳観氏・加藤巍山氏・松久靖朋氏の仏師三人の「なぜ、いま仏を彫るのか——現代仏師における〈信仰・伝統・個〉とは」、というそれぞれの作品を通して現代を問う展覧会。

【出品作家によるギャラリートーク】

10月17日(土)午後3時から

10.14 WED ~ 10.19 MON

加藤巍山「夢違観音」
H40×W12.5×D11cm
樟
撮影:kyo kouyoku



麻田 光子

荒木 節子 染織二人展 「染と織りと」

麻田光子氏、荒木節子氏による二人展。染めから織りまでを一貫して、洗練された紬を織る麻田氏と、絹地に独創的な文様を描いた帯が代表作の荒木氏。それぞれの「染と織り」による新作の競演。

10.21 WED ~ 10.26 MON

本館6階 美術画廊【染織】



山内 滋夫 展

1947年大阪府生まれ。祖父・里見勝蔵氏に師事。パリ国立美術学校を修了。西洋美術の根底にあるリアリズムを肌で感じながら日本の伝統絵画の装飾性にも強い関心を持つ、日本人ならではの洋画を描き出す。

色とりどりのモチーフの組み合わせと、幾何学的な形、静物の上を浮遊する昆虫など、巧みな画面構成で鑑賞者を魅了する。

【ギャラリートーク】

10月24日(土)午後3時から

山内滋夫×土方明司

10.21 WED ~ 10.26 MON

「芥子と豌豆の静物」
S10号
アクリル



長野 史子 展

—Drawing—

「ガラスは人間のように意思のある生き物」と捉え、ガラスの新たな表情を引き出すため、半分を素材に委ね相談するように制作をする長野史子氏。吹きガラスや電気炉を用いるキルンワークなどの技法を組み合わせで作られた作品は、光や水、時間といった形のないものの一瞬の表情を捉え形にしている。本展では平面作品と立体作品を合わせた新作を展観。

10.28 WED ~ 11.2 MON

「浮遊NEW」
W16×H17×D13cm
ガラス



本館6階 美術工芸サロン【金工】

釋永 維 展

金属という硬質な素材と真摯に向き合い、独自の感性で作品を創り出す金工作家・釋永維氏。銅や真鍮を用い、金属でありながらもどこか柔らかさを感じさせるフォルムや、使い込むほどに味わいを増していく作品は、暮らしに寄り添い豊かな時間をもたらしてくれる。本展では、日常を彩るうつわや花入など新作を中心に一堂に展観。

10.21 WED ~ 10.26 MON

(左)「錫釉銅立花入」
H24.8×Φ10.2cm
銅、錫、真鍮

(右)「錫釉銅立花入」
H31.1×Φ7.6cm
銅、錫



本館6階 美術画廊【立体】

小川 剛 展

Prismatic Records

1981年神奈川県生まれ。2009年東京藝術大学大学院修了。宇宙に漂う銀河の瞬き・自然界の光の現象にインスピレーションを受け、特殊フィルムと様々な素材・表面加工を組み合わせた構造色を用いて、立体作品を制作。

10.28 WED ~ 11.2 MON

「Plasma prism」
H60×W60×D5cm
樹脂、特殊フィルム



本館6階 美術工芸サロン【漆芸】

北浦 雄大 展

—ヨビツギものがたり—

1994年奈良県生まれ。2020年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程漆工専攻修了。縄文時代から続く漆の土着的な精神性を起点に、現代のサブカルチャーを鮮やかに融合させる気鋭の作家。「人間が目に見えないものに意味を与え、像や物語を生み出してきた営み」を制作テーマとし、伝統素材である漆とデジタル技術を用いながら、時代や文化を横断する現代の造形作品を発表。

10.28 WED ~ 11.2 MON

「異世界雲中菩薩
水のステッキ No.003」
H42×W56×D22cm
3Dモデリング・プリント、
漆塗り、加飾



		10月																														
		1木	2金	3土	4日	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11日	12月	13火	14水	15木	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金	24土	25日	26月	27火	28水	29木	30金	31土
本館6階	美術画廊	河嶋 淳司 展					準備会場	田中 義光 展					準備会場	－BUSSHI－ 令和・仏師・三人展 《江場 琳観・加藤 巍山・松久 靖朋》					準備会場	山内 滋夫 展					準備会場	長野 史子 展 ※11月2日(月)まで						
		橋詰 正英 展						呉 亜沙 展						麻田 光子 荒木 節子 二人展										小川 剛 展 ※11月2日(月)まで								
	美術画廊X	矢部 俊一 展					準備会場	五味 謙二 展																		準備会場	北川 健次 展 ※11月16日(月)まで					
	美術工芸サロン	百瀬 玲亜 展					準備会場	多田 幸史 展					準備会場	杉本 小百合 岩田 加奈恵 二人展					準備会場	釋永 維 展					準備会場	北浦 雄大 展 ※11月2日(月)まで						
2本階館	アート アベニュー	常設展																			準備会場	生嶋 花 展 ※12月14日(月)まで										

誠に勝手ながら都合により催内容、会期など一部変更または中止となる場合がございます。営業日・営業時間、催内容、会期の最新の情報は高島屋ホームページをご覧ください。



高島屋各店美術画廊・展覧会のご案内はホームページでもご覧いただけます。

高島屋 美術

検索

